

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2005-342289(P2005-342289A)

【公開日】平成17年12月15日(2005.12.15)

【年通号数】公開・登録公報2005-049

【出願番号】特願2004-166793(P2004-166793)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月10日(2008.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球発射手段により発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域を有する遊技盤に配設された入球手段と、

前記入球手段に遊技球が入球したことを検出する検出手段とを備え、

前記検出手段の検出結果に基づいて遊技者に遊技球を払い出す遊技機において、

前記検出手段が取り付けられる被取付手段と、

弾性変形していない状態では検出手手段に係合して検出手手段の取り外しを阻止し、弾性変形することにより、検出手手段を取り外し可能な状態にする係止手段と、

前記被取付手段に前記検出手手段を取り付けた状態で前記係止手段の弾性変形を阻止する弾性変形阻止手段と、

を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記検出手手段は、矩形状であり、

前記被取付手段は、前記検出手手段を挿入装着可能とする略箱状のソケットであり、

前記係止手段は、前記ソケットの挿入開口の周縁から前記検出手手段の取り外し方向に片持ち状に延伸し、当該延伸部の先端に係止爪を備え、前記検出手手段の挿入末端部に当該係止爪が係合するようになっており、

前記弾性阻止手段は、前記ソケットに前記検出手手段を取り付けたときに、前記係止手段を挟んで前記検出手手段と対向するように前記ソケットの延伸部と接触するように配備した他の構成部品である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項1に記載の遊技機において、

前記検出手手段は、矩形状で、その所定面に係止溝が形成されており、

前記被取付手段は、前記検出手手段を挿入装着可能とする略箱状のソケットであり、かつ、当該ソケットに前記検出手手段を挿入装着したときに、当該検出手手段に形成された係止溝の位置に貫通孔が形成されており、

前記弹性变形阻止手段は、前記ソケットに貫通孔が形成された周側面と接触する他の構成部品であり、

前記係止手段は、前記弹性阻止手段の表面に凸設された係止爪であり、かつ、当該係止爪が前記ソケットに形成された貫通孔を貫通して前記検出手段に形成された係止溝に係止するように構成されている

ことを特徴とする遊技機。

**【請求項 4】**

請求項 1 または 2 に記載の遊技機において、

前記検出手段が前記被取付手段に取り付けた状態で、前記係止手段が係止している部分を視認できるように配置した

ことを特徴とする遊技機。

**【請求項 5】**

請求項 4 に記載の遊技機において、

前記被取付手段および前記係止手段は、前記遊技盤に配設された入賞装置を構成するフレーム部材に一体形成されている

ことを特徴とする遊技機。